



文部科学省委託研究

「平成20・21年度 PT、OT、ST等の外部専門家を活用した指導方法等の改善に関する実践研究事業」

うごき・ことば・せいかつを 高める指導のあり方

～外部専門家との連携による指導力向上に関する研究～

《石川県立養護学校 研究発表会のご案内 最終案内》



★日時 平成22年2月5日(金) 10:00～16:30 (受付 9:30～)

★問い合わせ・申し込み・締め切り

本校のHP (<http://www.ishikawa-c.ed.jp/~yougos/>)に参加申込用紙が載せてあります。必要事項を記入の上、FAX または E-mail で申し込みください。電話での申し込みも受け付けています。

当日の参加も受け付けますが、昼食注文等の関係で、**1月29日(金)**までの申し込みをお願いします。

石川県立養護学校 〒921-8845 石川県石川郡野々市町太平寺4-164
☎ 076-248-0661 FAX 076-294-2893 E-mail yougos@m1.ishikawa-c.ed.jp
教頭 末平(すえひら)または、研究担当 畑澤(はたざわ)

★日程

時間	内容
9:30～	受付
10:00～10:40	開会・日程・研究概要等説明
10:50～11:30 (小)・11:35 (中・高)	研究・公開授業
11:35～12:40	昼食・休憩
12:40～13:10	ポスター発表
13:20～14:50	パネルディスカッション
15:00～16:30	講演

★研究・公開授業

学部	授業名	授業者	授業場所	授業のねらい
小	研究授業「遊びの指導」 でこぼこランドで遊ぼう	○中川典子・原恵一 斎藤裕子・棚木宏子 吉川育子・太島由佳	ブレイルーム 自立活動室	・興味のある遊具で遊ぶ ・身体の使い方や遊び方を自ら意識する。
中	研究授業「自立活動」 ふれプレ体操、おならがプー② 《立とう・歩こう・ドレミの歌》	○出南弥生 中村浩一	中学習室1 学習室前廊下	・いろいろな運動に主体的に取り組む。 ・手すりを使って立ち上がりをしたり、立位を保持したり、伝い歩きをしたりができる。
	公開授業「自立活動」 身体の動きを出そう	濱中 弘	中1学級 教室前廊下	・上下肢の緊張のある各部位を意識しながら、教師の適切な支援により自らが正しい姿勢保持、歩行をする。
	公開授業「自立活動」 リラクセスして 身体を動かそう	宮島千香子	中2学級	・CD やバランスボールを用いて生徒の自発的な動きを引き出す。
	公開授業「自立活動」 絵本を見よう	島田洋子	中2学級	・「本をめくる」という目的を持った動作をする。
	公開授業「自立活動」 SRC ウォーカーで 目的地に行こう	藤井壽美代	中3学級 図書室	・教師とのコミュニケーションを行いながら、SRC ウォーカーを用いた歩行に意欲的に取り組む。
	公開授業「自立活動」 からだを動かそう	田島 真	中3学級	・車椅子から降りて、いろいろな姿勢をとるなかで体を動かす。
高	研究授業「自立活動」 身近な言葉を覚えよう・ 話そう	川口真理	高等部3-1	・自分なりの表現でやりとりをする。 ・カードをよく見て、正しい名称を答える。
	研究授業「家庭」 元気がでる朝ごはんを作ろう	山田貴子	高等部2-2	・一汁三菜、栄養3色を意識した朝食メニューを考える。
	公開授業「英語」 Lesson9 You like pop music, don't you?	宮澤友紀子	高等部1-2	・英語学習を通して、自己紹介や円滑な会話を身につける練習をする。
	公開授業「美術」 記念制作 羊毛のマットを作ろう	○渡部真紀子 宮本和美・中村 滋 室山洋子	美術室1	・感性を働かせて、材料の持つ美しさや表現活動のおもしろさを感じ取り、表現する。
	公開授業「社会」 日本史：独立の回復	宮本直哉	高等部2-1	・冷戦下の占領政策の変化、独立回復の経緯を理解し、その課題を考える。
	公開授業「生活単元学習」 まとあてゲームをしよう	道田尚美・小木法子 前山哲也・藤田綾子 藪谷邦彦	高学習室2	・順番を待ったり、友達の活動を見たりして見通しを持って活動に参加する。 ・自分のできる方法で的に当てる。

★ポスター発表

- ①「OT、ST と連携しつつ、コミュニケーションの向上を目指したケース」 小学部
内言語はあるが表出の少ない児童に対して、児童に関わる教師の共通理解を図りながらコミュニケーション能力を高める指導を行った内容について報告します。
- ②「外部専門家との連携による授業力向上を目指した実践研究」 小学部
飯野順子氏（元筑波大学教授）を招聘し、子どもをみる力、授業を計画しデザインする力、子どもと関わる力、授業を展開する力等授業力向上を目指して取り組んだ実践研究について報告します。
- ③「PT、OT、ST、視覚の専門家と連携し、指導の改善を図ったケース」 中学部
生徒と指導者双方に心地よい歩行を目指し、中学部の教師全員が事例研究対象生徒の指導にかかわりながら、それぞれが自らの課題であるという意識を持って取り組んだ内容について報告します。
- ④「OT、ST、視覚の専門家と連携し、指導の改善を図ったケース」 高等部
コミュニケーション面に課題のある生徒について、卒業後も自分の意思をよりよく伝え、生き生きと生活していけるよう外部専門家との連携を通して行った授業実践について報告します。
- ⑤「コミュニケーション指導に関して、ビデオ分析を活用し授業の改善を図ったケース」 高等部
一人1分程度の指導場面の中で、生徒に対する言葉かけ、声の大きさや調子、教材の提示等を客観的に振り返り、互いの気づきや助言を生かして改善していった取り組みの報告をします。
- ⑥「日常生活の中でのコミュニケーションの広がりを求めて」 寄宿舎
コミュニケーションは話し手と受け手の相互交流であることを念頭に、「個別の指導計画」を生かして指導の充実を図ってきた。その中で一人一人のステップアップ目標を設定し、その達成を目指してきたことについて発表します。
- ⑦「デジタルペンを使った小学生の書字行動分析研究の紹介」
東京大学先端科学技術研究センター客員准教授（本校教諭） 河野俊寛
書字困難のある小学生が、楽に勉強に取り組めるようにするにはどうすればいいのか、という問題にアプローチする為の研究を紹介します。

★パネルディスカッション

テーマ

「外部専門家と学校との連携の在り方」～外部専門家の視点から～

コーディネーター

笠原 芳隆 氏（上越教育大学大学院学校教育研究科 特別支援教育コース 准教授）

パネリスト

荒木 茂 氏（石川県リハビリテーションセンター課長 理学療法士）

寺田 佳世 氏（石川県リハビリテーションセンター企画専門員 作業療法士）

中田 理代 氏（石川県視覚障害者情報文化センター ロービジョンルーム相談員）

河野 俊寛 氏（本校教諭、東京大学先端科学技術研究センター客員准教授、言語聴覚士）

畑澤 薫 氏（本校教諭 PT、OT、ST 等活用プロジェクトリーダー）

★講演

「うごき・ことば・せいかつを高める指導のあり方

～外部専門家との連携による指導力向上～

元筑波大学教授 飯野 順子 氏

★他校研究会案内

平成 22 年 2 月 4 日(木) 石川県立明和養護学校にて研究発表会が行われます。

★交通案内

- 金沢駅東口 9 番乗り場 40、41 番 南松任、千代野、寺井庁舎前行き乗車(約 30 分)
太平寺バス停下車 徒歩 10 分
- JR野々市駅南口 コミュニティバスのつてィ(8:47、9:27 発)乗車(約 8 分)
フォルテバス停下車 徒歩 7 分

